

## 公益法人の自律的ガバナンスについて

### ～公益法人のもつ社会変革力向上のために～

公益財団法人パブリックリソース財団  
共同創設者、代表理事、専務理事 岸本幸子

#### 1 弊財団の概要

理事長：久住 剛

2021年度経常費用：1,264百万円（助成額1,097百万円）※

沿革：2000年1月 特定非営利活動法人パブリックリソースセンター設立

2012年3月 一般財団法人パブリックリソース財団設立

2013年1月 内閣府より公益財団法人として認定

2022年3月までに累計37億円を超えるご寄付を頂き、年間1,000以上の団体の支援に取り組む。休眠預金活用事業の資金分配団体としても活動。

#### 2 民間非営利組織の経営の根幹

○ガバナンス、コンプライアンス、トランスペアレンシー、インパクト

○良きガバナンス：意思決定、執行、監査が分配されていること。

受益者を含む多様なステークホルダーの参画

透明、公正、迅速、果敢な意思決定の仕組み（密室で決めない）

決められたことが公平に適用される

寄付や人財などの資源が効率的に使われる

#### 3 民間非営利組織の理事会運営の活性化のために

○ボード・デベロップメント

○ボード・エデュケーション

○ボード・コミュニケーション

#### 4 コロナ禍は民間非営利組織の試金石

○弊財団が2020年に助成金額69位から8位に上昇したことが意味するもの

○公益法人は環境変化、社会の要請に柔軟に対応できる仕組みか？

○公益認定数は伸びているか

○変更認定と変更届出

<参考>「寄付適格性評価」の概要（英国 New Philanthropy Capital の協力で作成）

① 目的

- ・ ミッション、ビジョンがニーズに込んでいるか
- ・ 目的を達成するための十分な戦略を持っているか
- ・ 活動内容は、戦略を反映した実践となっているか
- ・ 成果を達成しているか

② 効果のある実践

- ・ 学び、改善するために情報を活用しているか
- ・ 達成しようとしていることが明確になっているか
- ・ 成果を評価するための正しい方法を知っているか
- ・ 成果について公開しているか

③ 人

- ・ 良質なリーダーシップが発揮されているか
- ・ 優れた人材を雇用し、マネジメントできているか
- ・ 良いガバナンスシステムになっているか
  - ガバナンスのプロセスに関して年次報告がどのように報告しているか
  - 理事会手続きについて聞き、理事会資料または議事録を検証して、理事会が効果的な組織運営のために、適切に焦点をあてているかどうかをみる
  - 理事長がどのくらいかかわっているか？どのくらい、どのように、事務局長をサポートしているか？事務局長と理事長はどのくらい相互に影響し合っているか？
  - 役員の役割や持っているスキル・ミックスの状況を確認。理事はどれくらいの頻度で会い、平均的な出席者数は何人か？スタッフに対し、役員の組織へのかかわり方のレベルを尋ねる。
  - 理事は組織の潜在的なリスクとそれを軽減させる方法を見極めているか？
- ・ 利用者が団体の活動プロセスに参画しているか
- ・ 健全な組織文化を持っているか

④ 財政の安定

- ・ 財政的に安定しているか
- ・ 良い財務管理を行っているか
- ・ 良い運営管理を行っているか
- ・ リソースを最大限活用できているか